

犬や猫を飼うときは、マナーも一緒に育てましょう

市によせられる犬や猫の苦情のほとんどは、飼い主の「心配り」と「しつけ」によりなくす事が出来ます。

飼い主は、ご近所に迷惑や危害をあたえないよう十分な管理としつけをして、責任ある飼い方をしましょう。



あなたの犬がご近所から好かれるために！

☆フンの始末を

家の周りにされた犬のフンや、尿の臭いで不快な思いをしている人がたくさんいます。

散歩中のフンは飼い主が必ず持ち帰りましょう。これは、犬を飼う上での最低限のマナーです。

また、散歩中に排泄させる習慣は、しつける事で変える事ができます。

自宅で排泄させた方が、処理も簡単で、散歩も気軽に行くことが出来ます。

☆放し飼いは禁止されています

早朝・夜間になると犬を放し飼いにする人がいますが、放し飼いは条例等で禁止されています。

また、散歩の時に、公園などで犬を放すのも放し飼いになるので禁止です。

どんなにしつけされた犬でも、飼い主の管理を放れた時は、予測の出来ない事故や問題を起こす事が考えられます。

犬は繋いで飼い、散歩の時も引き綱を必ずつけてください。

☆無駄吠えをさせないように

散歩に連れて行かなかつたり、不衛生な環境で飼っていると、ストレスから吠えやすくなります。

無駄吠えさせないために、日頃から散歩などの運動をさせ、衛生的な環境で飼うようにしましょう。

また、清潔な環境は、悪臭や害虫の発生防止にもなりますので、しっかり管理してあげましょう。

あなたの猫はご近所の迷惑になっていませんか？

☆猫は室内で飼いましょう

飼い猫を外に出し自由にさせると、病気の感染や、交通事故に遭ったりと多くの危険があります。

また、望まない妊娠をするかもしれません。

さらに、猫は立体的に行動するため、他人の土地に入っていたり、フンや尿、鳴き声でご近所トラブルの原因となります。

☆不妊・去勢手術をしましょう

不妊・去勢手術をしないでいると、知らない間に飼い猫が妊娠してしまう場合があります。

むやみに猫を増やさないう、不妊・去勢手術をしましょう。

手術をすると病気の予防やストレスの軽減、繁殖争いのための脱走防止にもなり、オスは尿等のスプレー行為の防止になります。

☆猫の室内飼育は可能です

猫の飼い主の方々をお願いします。

不必要なトラブルや危険から愛猫を守るためにも、室内飼育について真剣に考えてみてください。

猫の室内飼育はみなさんが思うよりも簡単です。

猫は高いところが好きなので、タンスの上にも上られるなど、工夫して遊び場などの確保をしてあげれば、室内でも充分飼うことができます。

また、猫の場合、家族が外出して一匹になってもさほどストレスになりません。

すべての方が、猫好きとは限りません。

ご近所の方からも理解の得られるようなマナーを守った飼い方をしましょう。

また、愛猫を病気・事故などから守るための安全な環境を用意してあげましょう。

そうする事が、猫のためであり真の愛猫家ではないでしょうか。

